

それぞれの介護への向き合い方を肯定したい

横浜ヤングケアラーヘルプネット

日本ケアラー連盟は、ヤングケアラーを「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」とし、若者ケアラーを「18歳〜おおむね30歳代」としています。日本では若い世代の介護者（以下、ケアラー）への支援は少なく、実態の把握も進んでいません。

手放した人もいます。また、友人たちは仕事や子育て・遊びと充実した毎日を送る中、孤独感を抱える人も少なくありません」と代表の高橋さんは言います。

横浜ヤングケアラーヘルプネット（以下、ヘルプネット）は、毎月定例会を開催しています。参加者は20代から40代。介護の悩みだけでなく、若者である自分自身に戻って世間話や恋愛などのフリートークに花が咲きます。

高橋さん自身も祖母の介護経験者です。30代前半で認知症の祖母の介護を始めますが、行き詰まりを体験し、世間で求められるような理想の介護をできない自分を責めてしまう辛い時期が続きました。その頃参加した地域ケアプラザ（地域包括支援センター）の介護者サロンで出会ったのが、20代ケアラーで子育て中の女性とケアマネジャーの西迫愛さんでした。

「若い世代のケアラーならではの悩みや課題も多く、介護のために仕事や不妊治療など色々なものを

西迫さんは「二人から相談を受けていましたが、40代以上のほかの参加者とは悩みが違っていると感じていました」と言います。また「3人で、ヤングケアラーの会を作れ

たらしいね」とヘルプネットを立ち上げました。

毎回同じ場所、同じ時間で行われるこの会は、当事者なら参加も出入りも自由。主催者も参加者同士もゆるやかにつながっている安心感の中で、フリートークは進みます。

ヘルプネットは「若い世代のケアラーの立場を社会や学校に知ってもらうことは、私たちにもできること。そしてケアラーそれぞれの介護への向き合い方を肯定する立場でありたい」と考え、そのために福祉関係者を対象とした研修会などでヤングケアラーのことを伝える活動も行っています。

ケアラーを支えることは介護される人を支えること。ヘルプネットはこれからもゆるやかに、若い世代のケアラーを支えていきます。

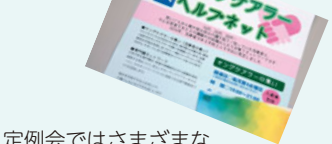
企画調整・情報提供担当



代表の高橋さん。ヘルプネットを立ち上げて以来、毎月休むことなく開催し若い世代のケアラーを支えている



「介護のことも含め、本音を若者の言葉で語ることに意味がある」と西迫さん



定例会ではさまざまな話が盛り上がる

消防用設備等の確実な点検を！

消防法では、一定の防火対象物の関係者に消防用設備等の点検報告を義務づけています。



適正な点検の結果、機能が正常な場合、左の点検済証を貼付させましょう。

(一財) 神奈川県消防設備安全協会

〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター4階408号
TEL 045-201-1908 FAX 045-212-0971

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています